



2022年11月20日(日)19時より、大阪城ホールにて「丸谷明夫先生ありがとう」を開催いたしました。

客席には4860名の皆様、そしてフロアの演奏者、役員を合わせると5238名という多くの方々にご参会いただき「丸谷先生ありがとう！」の気持ちが会場いっぱいに溢れる、忘れられない素晴らしい会となりました。これもひとえに、多くの皆様の沢山のお力添えがあつてのことと心より御礼申し上げます。

中でも、丸谷先生の指揮映像による、アリーナの淀工吹奏楽部、淀工吹奏楽部OB会、大阪高校選抜バンド、市立尼崎高校等の300名の皆様と、オーロラビジョンの大画面で同時に演奏する、全国10支部からご参加くださった多くのバンドとの「アルメニアンダンスパートI」の大合奏は、壮大なスケールで心に残る素晴らしい名演奏でした。場内は感動に包まれ、いつまでも拍手が鳴りやみませんでした。

その後、「丸谷先生の思い出の映像」が流れ、先生の声で想いが語られました。

『息を通して自らを表現しつつ 他者の存在を意識し 想いを想像し 対話の礎とする
そうすることで 多様な世界を受け入れる土壌を 自らの中に培うことができる
いま辛い思いをしている子どもたちこそが きっと人の胸を打つ音楽を奏でる大人になる
音楽を希望の糧にしてほしい。

吹奏楽の灯(ともしび)を消さないように頑張っていきましょう』

先生の声が会場に響きわたり、その言葉が我々の心に深く刻まれ、決意を新たにしました。

丸谷明夫先生！本当に長い間お世話になりありがとうございました！

会場にお越し下さった皆様、そして実行委員会でともにご尽力くださった、全日本吹奏楽連盟、大阪府吹奏楽連盟、府立淀川工科高校、淀工吹奏楽部、淀工吹奏楽部OB会、朝日新聞社、日本パルス、大阪フォートの皆様、とりわけ大阪城ホールの方々や、それぞれの分野でご協力を賜りました皆様に厚く御礼申し上げます。

本当にありがとうございました、